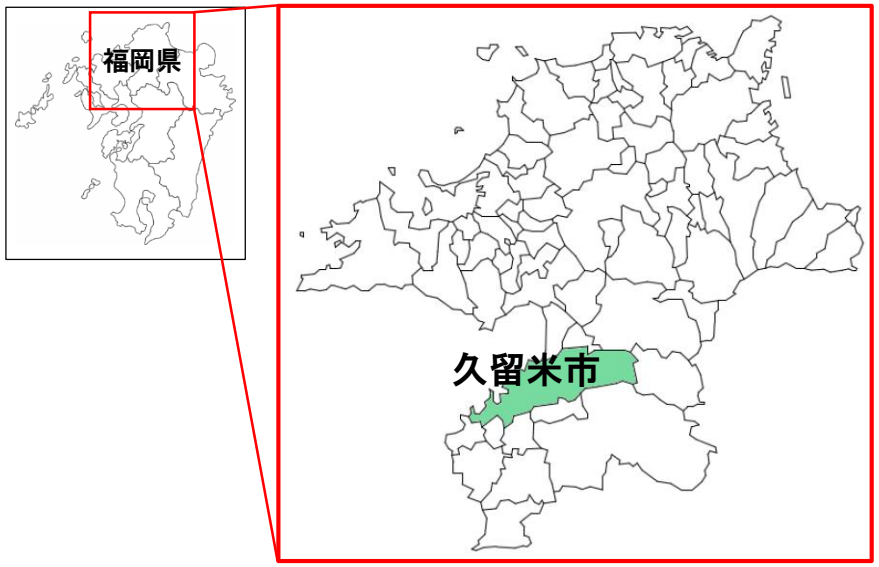
神奈川県大規模氾濫減災協議会

久留米市における
大雨災害の状況と対応について

令和６年１２月２０日
久留米市総務部防災対策課

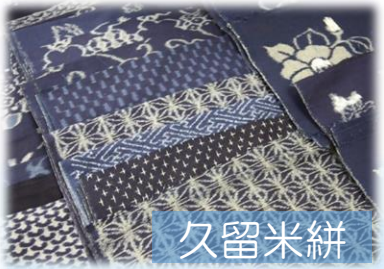
久留米市片ノ瀬橋上空
国土交通省九州地方整備局はるかぜ号が撮影

久留米市の概要



面積：229.96㎢
人口：300,451人(R6.8.1時点)

　九州一の大河・筑後川と緑豊かな耳納連山に育まれた肥沃な大地と温暖な気候に恵まれた、自然豊かな美しい都市です。
　九州における交通の要衝に位置し、古くから県南地域の経済・文化の中心都市として栄えてきました。



1. 近年の大雨災害の状況

2. これまでの取り組み

3. 令和5年7月大雨による被害と対応の状況

4. 災害を踏まえた取り組み

1. 近年の大雨災害の状況

毎年のように**観測史上１位**を更新　**大雨特別警報**が６年間で**４回**

平成３０年以降**６年間で６回**の大規模な**浸水被害**が発生

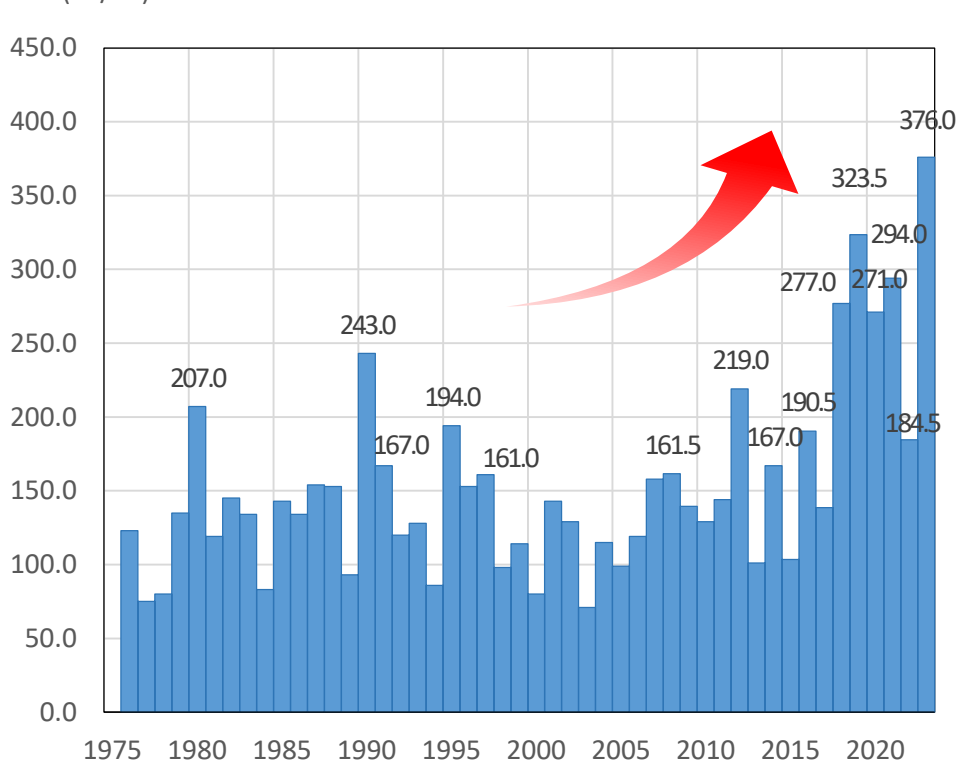
	1時間 最大雨量	3時間 最大雨量	24時間 最大雨量	48時間 最大雨量	72時間 最大雨量	総雨量
平成30年7月	40.5mm		279.5mm 観測史上1位	383.5mm 観測史上1位		386.0mm (7/5～8) 特別警報
令和元年7月	90.0mm 観測史上1位	177.5mm 観測史上1位	335.5mm 観測史上1位	402.5mm 観測史上1位		474.5mm (7/18～23)
令和元年8月	60.5mm	147.0mm	330.0mm	366.5mm		408.0mm (8/26～29) 特別警報
令和2年7月	48.0mm	105.5mm	360.5mm 観測史上1位	483.0mm 観測史上1位	529.0mm	772.0mm (7/5～11)
令和3年8月	72.0mm		387.0mm 観測史上1位	572.5mm 観測史上1位	718.5mm 観測史上1位	896.5mm (8/11～19) 特別警報
令和5年7月 ※耳納山観測所の記録	91.5mm 観測史上 1位(※)	167.0mm 観測史上 1位(※)	402.5mm 観測史上 1位(※)	452.0mm	565.5mm	567.0mm (7/7～10) 特別警報
【参考】 昭和28年6月	43.0mm	—	—	—	—	564.3mm (6/25～29)

1. 近年の大雨災害の状況

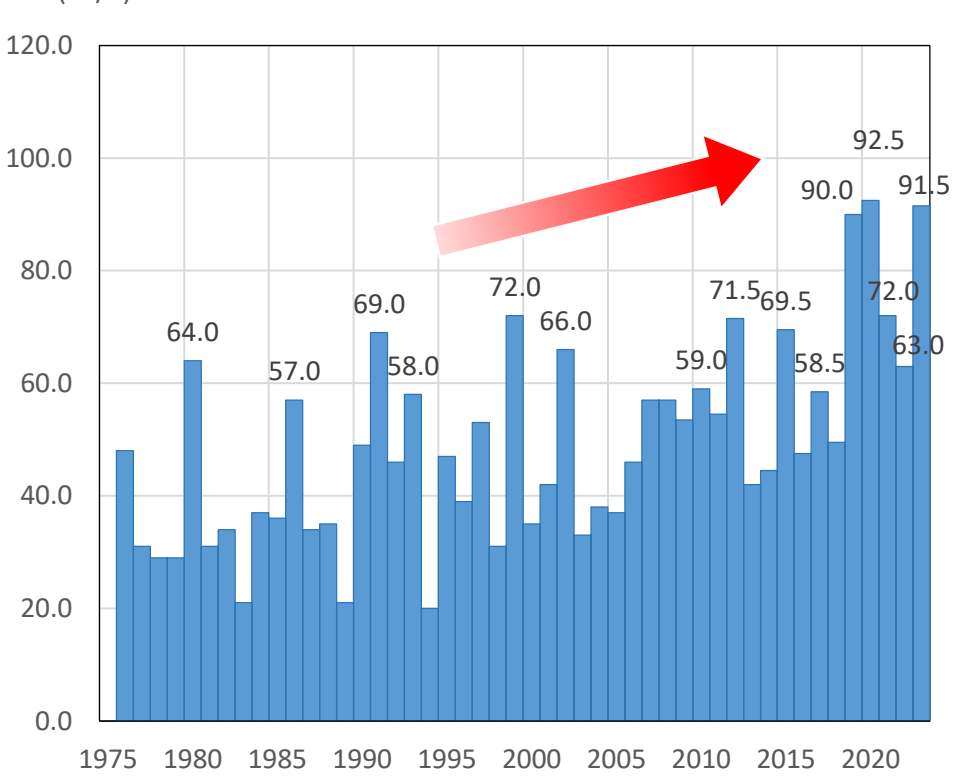
毎年のように**観測史上１位**を更新　**大雨特別警報**が６年間で**４回**

平成３０年以降**６年間で６回**の大規模な**浸水被害**が発生

最大日雨量の推移



最大1時間雨量の推移



（※）R5年は耳納山観測所の記録

1. 近年の大雨災害の状況

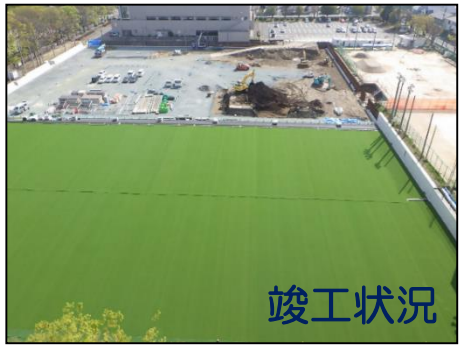
2. これまでの取り組み

3. 令和5年7月大雨による被害と対応の状況

4. 災害を踏まえた取り組み

2. これまでの取り組み（オフサイト貯留施設の整備）

久留米大学 貯留施設（21,800㎥）



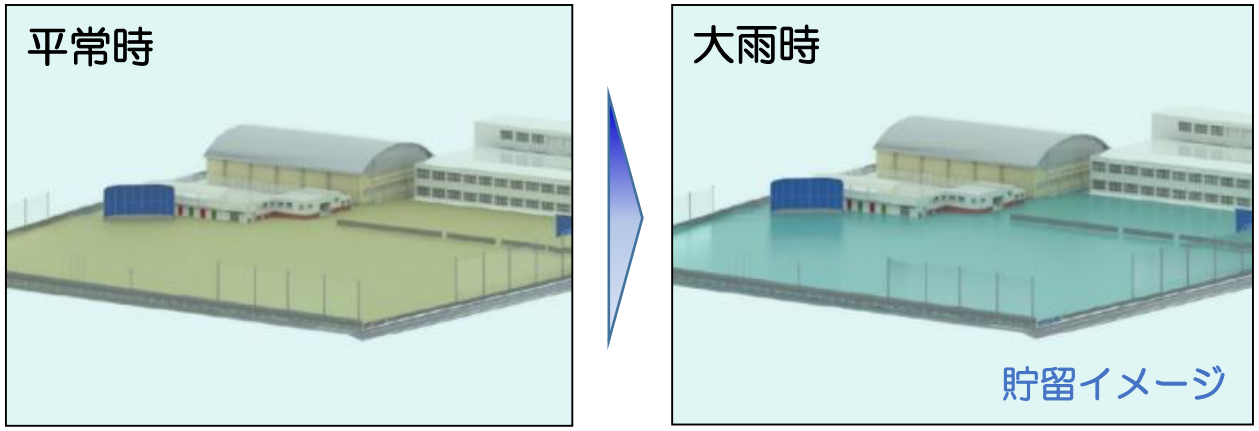
御幣島公園 貯留施設（4,800㎥）

2. これまでの取り組み（オンサイト貯留施設の整備）

学校グラウンドや公園等を活用し

雨水流出抑制施設（オンサイト貯留）を整備

北野中学校グラウンド（2,000㎥）
城島総合文化センター駐車場（400㎥）
善導寺公園（1,000㎥）
北川原公園（600㎥）
田主丸中学校グラウンド（3,600㎥）
御幣島公園（140㎥）



2. これまでの取り組み（護岸嵩上げ、フラップゲート等）

護岸嵩上げ

フラップゲート設置

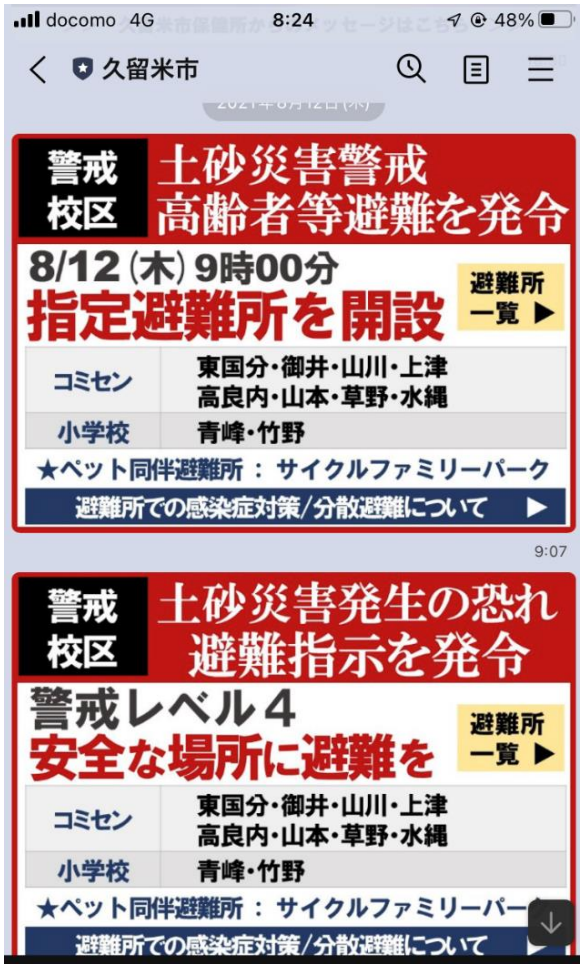
河川改修

ポンプ増設

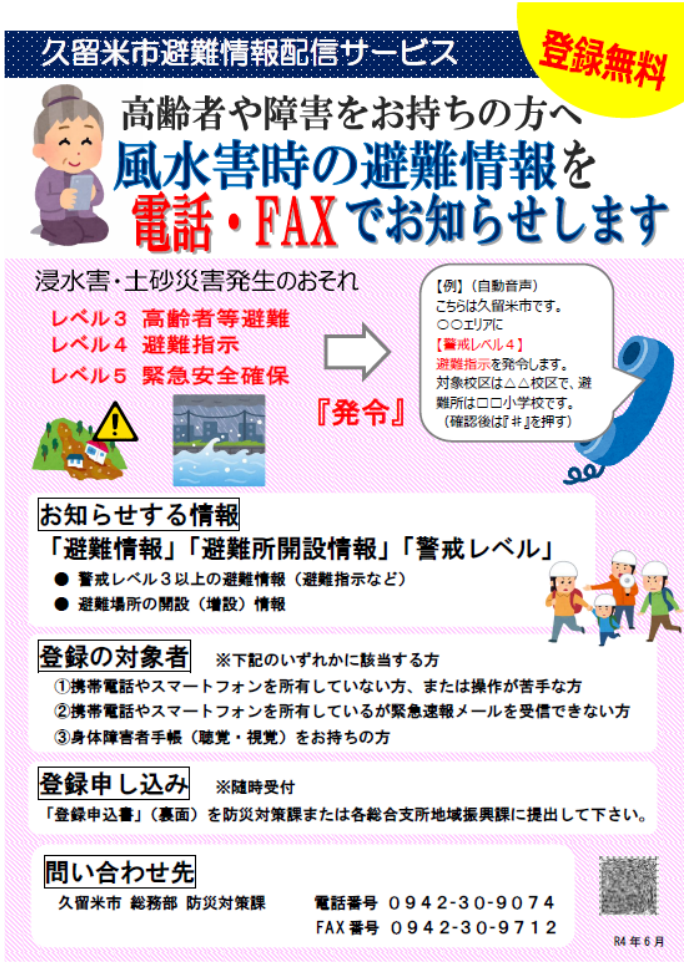
樋門・樋管改修

2. これまでの取り組み（防災対策の強化・充実）

公式LINEで情報発信



架電やFAXで情報発信



2. これまでの取り組み（防災対策の強化・充実）

防災チャットボット

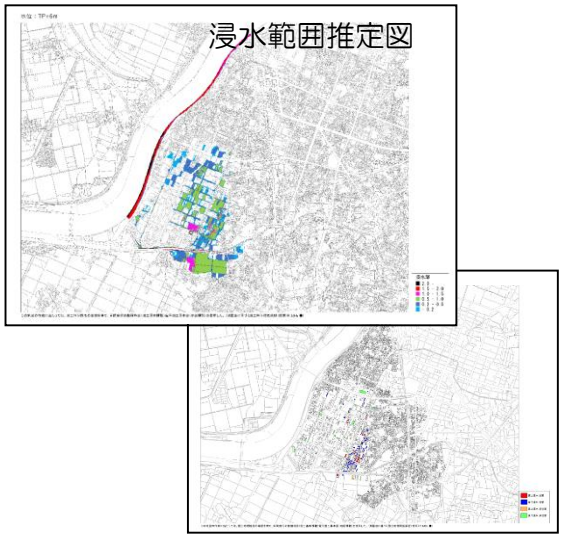
登録

QRコードから
「友だち登録」

確認

- 令和3年度に導入
- 現場の画像等を投稿
  市民に公開

浸水推定図



量水標

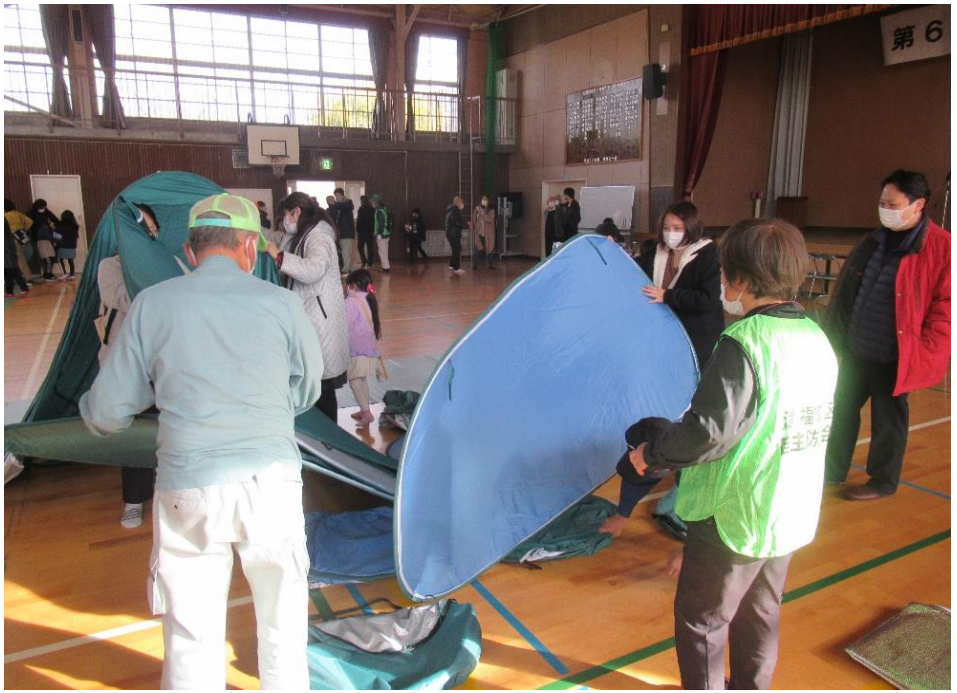
- 116か所に設置

2. これまでの取り組み（防災対策の強化・充実）

避難所の協働運営

▶ 46校区の校区コミュニティ組織のうち
23校区と協定を締結し、地域と市で避難所を協働で運営

避難所運営訓練



パーティションテントの設営

2. これまでの取り組み（防災対策の強化・充実）

ペット同伴避難所

- ▶ 令和3年度から開設
- ▶ 令和5年度　1か所から３か所に増設
  （市内東部、中心部、東部に各１か所）

（参考）令和５年度避難者
17世帯　35人
犬11匹、猫6匹

2. これまでの取り組み（防災対策の強化・充実）

災害時に備えた計画的な　**備蓄品の確保**

災害協定等による支援体制の充実

備蓄の状況

避難想定 11,000人

水縄断層を震源とした場合の想定最大避難者数

市備蓄品

食料品：米･パン、水、粉ミルク等
生活品：毛布、マット、携帯トイレ、
おむつ、生理用品等

市備蓄以外の備え

流通備蓄・災害協定（約100団体）
家庭内備蓄での対応

1. 近年の大雨災害の状況

2. これまでの取り組み

3. 令和5年7月大雨について

・大雨による被害の状況

・市民ニーズへの対応

4. 災害を踏まえた取り組み

・課題と今後の対応

3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

降雨・被害概況

◆令和５年７月７日～１０日

- 総雨量　567.0mm（４日間累積）
- 1 時間最大雨量　91.5mm
- 24 時間最大雨量　402.5mm
- 48 時間最大雨量　452.0mm
- 72 時間最大雨量　565.5mm

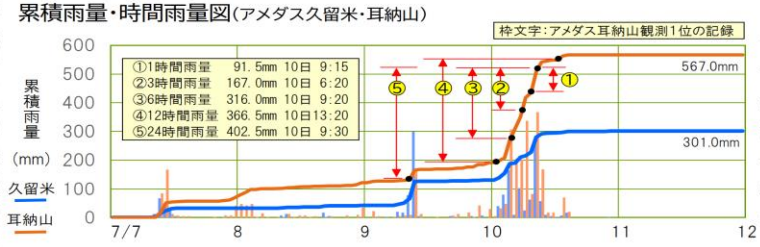
観測史上最大（※）
※耳納山観測

【被害状況】　《８月２９日現在》

人的被害	７名
（死者２名　重傷２名　中等症３名）	
住宅被害	２，５０３棟
（うち床上浸水	９４７棟）
道路被害	４５７箇所
河川被害	３４８箇所
土砂災害	２５箇所
農産物及び施設・機械被害	３６．２億円
	９７６．５ｈａ

凡　例
- 主な浸水範囲
- 土砂被害範囲
- ●● 川　溢水等により周囲に広く冠水が生じた主な河川

累積雨量・時間雨量図（アメダス久留米・耳納山）



3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

令和5年7月大雨では 人的被害は **7件**　住家被害が **3,000棟超え**

	H 30.7月	R1.7月	R2.7月	R3.8月	R5.7月
人的被害	0名	1名 （軽傷）	0名	0名	**7名** **（うち2名死亡）**
住家被害 （うち 床上浸水）	1,613棟 （431棟）	136棟 （89棟）	1,395棟 （307棟）	1,025棟 （317棟）	**3,091棟** **（1,026棟）**
道路被害	369件	23件	201件	145件	**523件**
河川被害	14件	9件	37件	31件	**393件**
土砂被害	43件	0件	0件	0件	**25件**
農業被害 （被害面積）	25.3億円 （1,025.7ha）	2.8億円 （172.6ha）	19.3億円 （2,515.0ha）	17.7億円 （2,013.1ha）	**36.2億円** **（976.5ha）**
商工業被害	5.2億円 130件	0.7億円 64件	11.8億円 210件	16.7億円 262件	**13.7億円** **236件**

3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

日時	主な経過
7日14時00分	合同記者会見（九州地方整備局、気象台）
7日16時30分	大雨注意報を発表（気象台） 情報収集体制を設置（久留米市）
8日17時00分	災害警戒本部へ移行（久留米市） 土砂校区を対象として高齢者等避難を発令（久留米市） 指定避難所10カ所、ペット同伴避難所2カ所及び自主避難所5カ所を開設（久留米市）
9日9時43分	大雨警報（浸水害）を発表（気象台）
9日10時26分	大雨警報（土砂災害）及び洪水警報を発表（気象台）
9日14時54分	大雨警報（浸水害、土砂災害）及び洪水警報を大雨注意報及び洪水注意報へ切り替え（気象台）
9日15時00分	土砂校区に発令していた高齢者等避難を解除（久留米市） 指定避難所10カ所及びペット同伴避難所1カ所（東部）を閉鎖（久留米市） ※ペット同伴避難所（中央部）及び自主避難所５カ所は継続して開設
10日0時34分	大雨警報（土砂災害、浸水害）を発表（気象台）
10日3時42分	洪水警報を発表（気象台）
10日3時45分	災害対策本部に移行（久留米市） 避難指示の発令（北部・東部・中央部） 自主避難所3カ所（荘島、田主丸、北野）を指定避難所に変更 指定避難所27カ所を開設 ペット同伴避難所1カ所（東部）を開設

日時	主な経過
10日4時00分	土砂災害警戒情報の発表（福岡県、気象台）
10日4時51分	避難指示の発令（西部・北西部エリア、土砂校区） 自主避難所2カ所（城島、三潴）を指定避難所に変更 指定避難所12カ所を開設 ペット同伴避難所1カ所（西部）を開設
10日7時00分	巨瀬川氾濫発生情報（河川事務所）
10日7時16分	緊急安全確保の発令（東部エリア）
10日7時30分	大雨特別警報（浸水害）発表（気象台）
10日7時34分	緊急安全確保の発令（市内全域） 指定避難所2カ所を開設
10日9時30分	大雨特別警報（土砂災害）発表（気象台）
10日9時54分	緊急安全確保の発令（土砂校区）
10日11時50分	市長緊急メッセージ 「命を守る行動」を呼びかけ
11日8時31分	緊急安全確保の解除 指定避難所31カ所を閉鎖 ペット同伴避難所2カ所（西部、東部）を閉鎖 指定避難所4カ所（荘島、北野、城島、三潴）を自主避難所に変更

4. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

久留米市　巨瀬川　　7月10日

気象情報・水位情報

10日　0時34分
大雨警報（浸水害・土砂災害）

10日　3時42分　洪水警報

10日　4時　土砂災害警戒情報

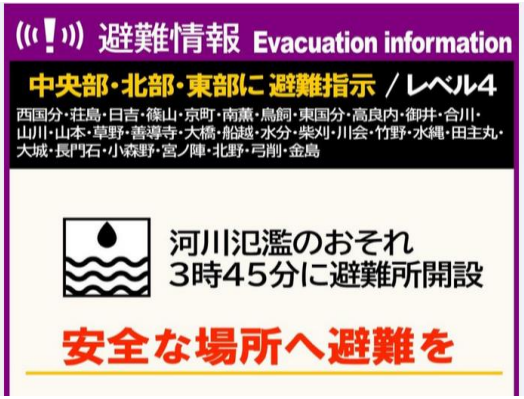
10日　4時　氾濫注意水位
水位：1.93m（中央橋）

10日 4時20分　氾濫警戒水位
水位：2.39m（中央橋）

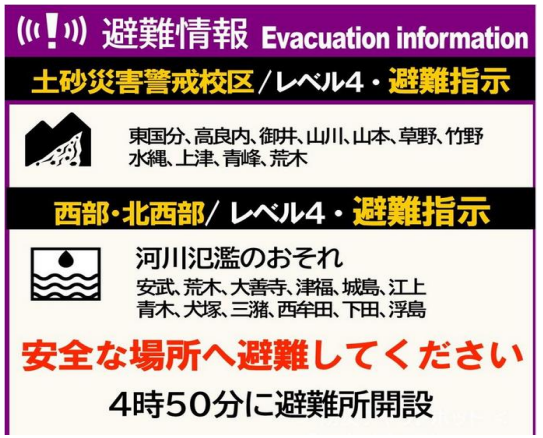
10日 4時40分 氾濫危険水位
水位：2.62m（中央橋）

避難情報

10日　3時45分　避難指示
（河川氾濫）



10日　4時51分　避難指示
（河川氾濫・土砂災害）



4. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

久留米市　巨瀬川　　7月10日

気象情報・水位情報

10日 6時20分　計画高水位
水位：3.18m（中央橋）

6時40分頃　巨瀬川氾濫発生

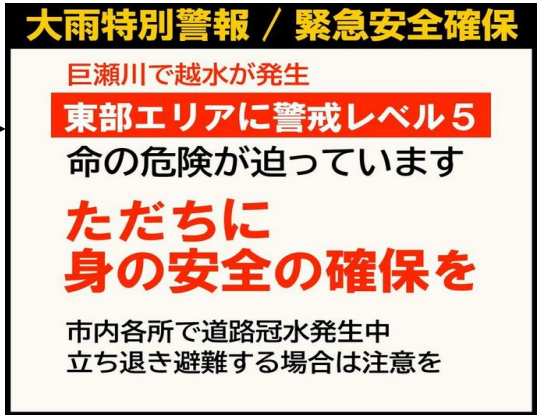
7時20分
（中央橋）

川の防災
（水位情報）

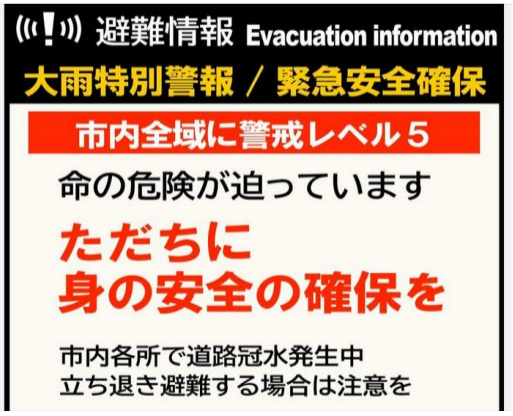
10日　7時30分
大雨特別警報（浸水害）

避難情報

10日　7時16分
緊急安全確保（東部）



10日　7時34分
緊急安全確保（市全域）



4. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

久留米市　巨瀬川・耳納山地　　7月10日

気象情報・水位情報・土砂災害	避難情報
巨瀬川越水	緊急安全確保（市全域）
10日 9時30分頃　土石流発生 （久留米市竹野校区　千ノ尾川）	

10日 9時30分
大雨特別警報（浸水害・土砂災害）

3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

久留米広域消防本部の活動

火災　1件
警戒　43件
救助　61件（救助人数160名）
救急　9件

久留米市消防団の活動

救助（ボート）　8件
（救助人数２８名）

3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

土砂災害現場での 救助活動

久留米広域消防本部　71名
近隣の７消防本部　29名
福岡県警　230名
陸上自衛隊久留米駐屯地（先遣隊）　2名

3. 令和5年7月大雨について（被害の状況）

避難所の開設

避難所　50か所
（ペット避難所3か所含む）
避難者　382世帯
704名（女性が6割程度）

避難所の長期開設

竹野小学校　7月7日～8月21日
田主丸総合支所　7月7日～8月25日

竹野小学校体育館

1. 近年の大雨災害の状況

2. これまでの取り組み

3. 令和5年7月大雨について

・大雨による被害の状況

・市民ニーズへの対応

4. 災害を踏まえた取り組み

・課題と今後の対応

3. 令和5年7月大雨について（市民ニーズへの対応）

災害ごみ 等の受け入れ

▶ 仮置き場等

災害ごみ

7/12～　　田主丸流通センター
7/15～17　　藤波ダム公園グラウンド（うきは市）
22～23　　〃
その他地域で、住民専用集積所を設置

土砂等

7/12～　田主丸浄化センター空地
7/14～　山本町

▶ 処理施設

7/11～　宮ノ陣／上津クリーンセンター
7/13～　耳納クリーンステーション

3. 令和5年7月大雨について（市民ニーズへの対応）

プッシュ型で 家屋調査

7/14～8/14　約12,000棟を調査
エリアを特定し訪問調査

【実績】
床上浸水　1,065件
床下浸水　1,444件
屋内浸水（非住家）　2,105件

罹災証明 の受付・交付

7/11から受付開始

【実績】
受付件数　2,802件
交付件数　2,802件

住宅支援

▶市営住宅の一部提供（申請31件）

【支援内容】

床上浸水以上の被災者の方を対象に市営住宅の空室を一時的に提供

▶応急住宅の提供（申請6件）

【支援内容】

住家が全壊の被災者を対象に
市営住宅の空室や市が借上げた
民間賃貸住宅を一時的に提供

3. 令和5年7月大雨について（市民ニーズへの対応）

災害ボランティア

- ▶ 活動期間　7/11～10/31
- ▶ 活動件数　780件
- ▶ 活動者数　7,977人

【経過】
7/11～　ボランティアセンターを設置
7/13～　活動開始
7/14～　サテライトを設置

農業ボランティア

- ▶ 活動者数　534人

3. 令和5年7月大雨について（市民ニーズへの対応）

被災家屋の解体・撤去

【概要】
市が所有者に代わり全壊被害にあった家屋等を解体・撤去

【実績】
公費解体　11件
費用償還　4件

残存物の撤去

【概要】
民有地内の人力で除去が困難な岩石や流木等を行政が除去

【実績】

対象面積	約1.2ha	
除去量	土砂・岩石等	2,610㎥
	流木	230㎥

3. 令和5年7月大雨について（市民ニーズへの対応）

国土交通省（TEC-FORCE）による被災状況調査

派遣期間　7/18～25
派遣人数　7班　29人
派遣内容　河川や道路の被災状況調査

各自治体からの派遣

【短期派遣】
被災家屋調査　延べ880人
罹災証明業務　延べ129人
災害ごみ対応　延べ104人
保健師活動　延べ7人

【中長期派遣】
福岡県、福岡市、北九州市、春日市
福島県郡山市　から10人

1. 近年の大雨災害の状況

2. これまでの取り組み

3. 令和5年7月大雨について

・大雨による被害の状況

・市民ニーズへの対応

4. 災害を踏まえた取り組み

・課題と今後の対応

4. 災害を踏まえた取り組み（課題と今後の対応）

経験のない事象・規模の災害を受け、**数多くの課題が…**

市政運営総括会議で令和5年7月大雨における課題への対応について検討・協議

1. 避難情報の発令・避難所に関すること

   避難情報の発令に関わらず、なかなか避難行動につながらない
   浸水被害により避難所が一時孤立
   道路が土砂で寸断され避難所へのアクセスが困難になる

2. 災害ごみや土砂等の受入に関すること

   災害ごみの仮置き場が混雑、周辺道路が渋滞
   災害ごみの搬入に時間を要する状況が発生

3. 災害ボランティアに関すること

   市、社会福祉協議会、各ボランティア団体間での情報共有、連携強化が必要

4. 被災者支援に関すること

   家屋が全壊するなど被害が大きい世帯への支援のあり方、支援メニューの周知
   被災家屋調査や罹災証明発行の迅速化（業務の効率化とデジタル化）

4. 災害を踏まえた取り組み（課題と今後の対応）

経験のない事象・規模の災害を受け、**数多くの課題が…**

市政運営総括会議で令和5年7月大雨のおける課題への対応について検討・協議

5. 協定・物資支援に関すること

平常時から協定の相手方と協議や連携が必要
支援物資の保管場所や活用法の事前の想定が必要

6. 土砂災害への対応に関すること

土砂災害発生地域への避難情報の発令や情報の伝達
民有地に流入した土砂や岩石、倒木等の撤去

7. 浸水対策に関すること

被害が大きかった巨瀬川流域における浸水対策が急務
その他の流域における浸水対策の着実な推進

8. 災害対応の体制に関すること

著しく業務量が増加した職場への支援

4. 災害を踏まえた取り組み （課題と今後の対応）

「今まで大雨が降っても大丈夫だった…」

「今回も大丈夫だろうと思った…」

考えを改める必要がある

4. 災害を踏まえた取り組み （課題と今後の対応）

令和５年７月大雨を踏まえた、

令和６年度取組の重点ポイント

- ▶ 適切な避難行動を促す取組みの強化
- ▶ 安心して避難できる環境の整備
- ▶ 災害時対応の強化・迅速化

4. 災害を踏まえた取り組み （課題と今後の対応）

災害から命を守るために

啓発動画で避難を呼びかけ

災害から身を守るため、土砂災害編・
内水氾濫編の動画を制作

校区や地域で説明会を開催

動画を使った早期避難の呼びかけ・浸水対策を説明

土砂災害に関する研修会の開催

土砂災害警戒区域がある校区で有識者による
研修会を開催

市長自ら早期の避難を呼びかけ

4. 災害を踏まえた取り組み（課題と今後の対応）

災害から命を守るために

地域独自避難所を新設

竹野校区と大橋校区が合同で社会福祉施設を活用

指定避難所を見直し

大橋校区の避難所を小学校から
耳納市民センターに変更

備蓄物資を充実

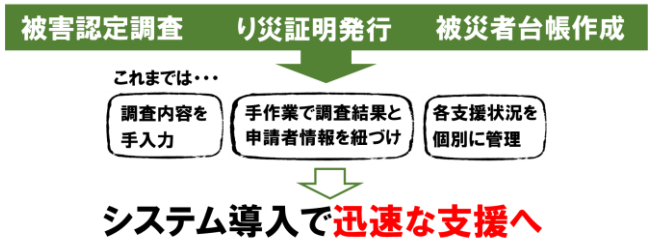
マットレスを新規購入
携帯トイレを追加購入

4. 災害を踏まえた取り組み （課題と今後の対応）

災害から命を守るために

○被災者支援に必要な業務をシステムで一元管理

被災者生活再建支援システムを導入



○出水期前に企業や団体・関係機関と連携強化

災害支援関係企業・団体による情報交換会を開催

防災関係機関との意見交換会を開催